

# 次代の農業を担う

～栃木県農業大学校生のチャレンジ～ ④

## おいしいブルーベリーを より多くの人に届けたい



収穫期のブルーベリー



卒論調査の中間検討

私の家では、ブルーベリーを主体にキウイフルーツ、クリなどを栽培しています。祖父を中心に、パートを雇いしながら家族全員で取り組んでいます。私

は、祖父の後継者になるため栃木県農業大学校に入学しました。農大の専攻実習では、主にブルーベリーの栽培を学んでいます。ブルーベリーにはポリフェノールの一種である「アントシアニン」が豊富に含まれていて、視機能を改善する

効果や抗酸化作用（老化防止）などがあります。現代社会の問題になっているスマートフォンのなどによる視力低下や生活習慣病に対して需要が高い果実です。農大に入学するまでは収穫作業しかしたことのなかった私にとって、

年間を通じてのブルーベリーの管理学習は、栽培の意欲や農業に対しての価値観を変えるものがありました。特に、せん定の作業が難しく、ブルーベリーの主軸枝を間引き、残した枝の数によって、老木樹の若返りを狙ったのですが、元々の樹勢の強弱によって、樹勢が回復したり枯れてしまったりと違いがあり、せん定の奥深さには心が引かれました。また、農大にあるナシ、ブドウ、リンゴなどの観察体験が今後の私の農業経営に役立つと感じています。

一年生の時に実施した「先進的経営体実習」では、ナシの経営農家にお世話になりました。そこでは、実践的な栽培技術に加え顧客に対してサービスを提供するという商業的な面も学び、また経営者にとって「まじめで熱心であること」の大切さをご教授いただきました。

私は卒業後将来の経営者として、農大で学んだ知識や技術、経営者の心構えを栽培や経営に生かし、おいしいブルーベリーをより多くの人に届けたいと思います。

（園芸経営学科果樹専攻・

馬場 智大）



# 就農を志して 野菜と花と私

人も野菜を育てていますが、若い人な母が大好きだった花に関わる仕事をしたいという熱い気持ちから、私は進学して花について学ぼうと決意し農業大学校に入学しました。

「草むしり手伝ってくれ」。農業に  
関わり始めたのは幼い頃です。祖父  
の家に行くとき草むしりや野菜の苗植  
えを当たり前のように姉と楽しんで  
手伝っていました。今、祖父は亡く  
なってしまうましたが、祖父の作る  
野菜は近所のスーパーで売っている  
野菜より何倍も美味しかったことを  
覚えています。そんな野菜を作って

いる祖父の姿に影響を受け農業に興  
味をもちました。

私は、畑や田んぼがあるちよつと  
した田舎に住んでいます。引越  
してきた頃に比べると農地は埋め立  
てられ宅地化が進み、田んぼも減っ  
ていて少し悲しい気持ちです。私の  
家は非農家ですが祖母と一緒に畑を  
作って野菜を育てています。近所の

人が畑を耕す姿を見かけないことか  
ら高齢化がうかがえます。きつとこ  
れが今の時代の農業なのだろうと実  
感させられます。

私の家では野菜だけではなく、バ  
ラやカーネーションなど様々な花も  
育てています。花は母と一緒に植え  
ることが多く、母は花が好きで、特  
にフリージアが好きだったと気づい  
たのは母が亡くなった時でした。そ

私の家では野菜だけではなく、バ  
ラやカーネーションなど様々な花も  
育てています。花は母と一緒に植え  
ることが多く、母は花が好きで、特  
にフリージアが好きだったと気づい  
たのは母が亡くなった時でした。そ

就農後は、大学で学んだ知識を活  
かして、いち早く作業を覚え農家の  
役に立てるような農業者になりたい  
です。また、農業に関わることで自  
分が育てた野菜を食べた時の美味  
しさ、育てた花をいろいろな場所で  
使ってもらえる嬉しさを味わうこと  
を自分の生きがいとし、また農業の  
楽しさを多くの若者に伝えていける  
ようこれからも頑張っていきたいと思います。

専攻実習（カーネーションの芽の整理実習）



課題研究調査でのデータ採取

（園芸経営学科花き専攻・

渡邊 公実）